

会 議 録

| | |
|----------|---|
| 会議の名称 | 平成25年度 第2回 所沢市地域福祉推進検討委員会 |
| 開催日時 | 平成25年11月25日(月) 14時00分 ~ 16時00分 |
| 開催場所 | 市役所高層棟7階 研修室 |
| 出席者の氏名 | 大島委員 岡村委員 小田島委員 小原委員 神武委員 柴井委員 仲田委員 難波委員 長谷川委員 広瀬委員 福田委員 前橋委員 山江委員 吉田委員 |
| 欠席者の氏名 | 羽鳥委員 |
| 説明者の職・氏名 | |
| 議 題 | (1) (仮称) 所沢市総合福祉センター整備に係る進捗について (報告) (2) 次期計画に向けた提言について (3) その他 |
| 会議資料 | ①平成25年度 第2回 所沢市地域福祉推進検討委員会 次第 ②資料1 : 事務局からのお願い ③資料2 : 提言の考え方 ④資料3 : 参考資料①~③ ⑤資料4 : 回答シートまとめ |
| 担当部課名 | 福祉部 福祉総務課 地域福祉推進室 電話04(2998)9113 福祉部長 本橋 則子 福祉部次長 美甘 寿規 福祉総務課長 北田 裕司 福祉総務課主幹 池田 康德 福祉総務課主査 佐藤 尊之 福祉総務課主任 井上 大樹 福祉総務課主任 加賀屋 浩介 福祉総務課主任 小古井 一樹 |

様式第2号

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|------|---|
| 池田主幹 | <p>1. 開 会</p> <p>開会を宣言した。</p> |
| 前橋会長 | <p>2. あいさつ</p> <p>今年度、この委員会の役割として、次期計画に向けた提言書を作成する。本日と、2月に予定している第3回の会議でその内容をまとめるため、皆さまの力をお借りして、スムーズな進行に努めたい。本日は、委員の皆さまから、いろいろなご意見をいただけるよう、よろしくお願ひしたい。</p> |
| 池田主幹 | <p>○会議に関する説明・資料の確認</p> <p>下記事項の説明を行い、その後、資料の確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の終了予定時刻（午後4時00分） ・会議の公開と会議録の方式（要約方式、会長の承認・署名をもって確定する） ・傍聴希望者0名、報道機関0名 |
| 前橋会長 | <p>3. 議 題</p> <p><u>（1）（仮称）所沢市総合福祉センター整備に係る進捗報告</u></p> <p>事務局から、ご説明をいただきたい。</p> |
| 佐藤主査 | <p>「（仮称）所沢市総合福祉センター（以下、総合福祉センター）」の整備については、平成24年8月に策定した基本計画を基に進めている。本年5月末に建物の基本設計がまとまり、部屋の配置などが決定された。これについては、委員の皆様にもブロックプランとしてお届けしている。現在は、部屋の仕上げをどのようにするかをはじめとする、実施設計を進めているところである。</p> <p>建設については、基本設計を基に本年8月に開発申請を行い、無事に開発許可が下りた。これに際しては、建設に関する近隣関係者の皆様に対し、住民説明会を開催した。</p> <p>その後、解体工事については、本年10月下旬に施工業者が決定し、同11月18日より着工となった。解体工事に際しても、近隣関係者の皆様に周知をさせていただくとともに、事前に説明会を開催したところである。</p> <p>現在、仮囲いや事務所などを設置するために、樹木の伐採が行われているが、本格的な建物の解体工事は、12月に入ってからになる見通しであり、工事の完了は、3月中旬を予定している。その間、関係所属とともに、「総合相談」や「人材育成」、「健康増進・機能回復機能」、「子育て支援・子ども発達支援」、「ボランティア活動支援」など、いわゆるソフト面の検討を行い、平成26年4月を目途に、「総合福祉センター」で担う機能の内容を盛り込んだ、実施計画の取りまとめを進める予定である。</p> |

| | |
|------|--|
| 前橋会長 | <p>ありがとうございました。委員の皆さまから、ご意見やご質問は。では、続いて議題2に移りたい。</p> <p>本日は、提言書案の作成に向けて、委員の皆さまからこれまで寄せていただいたご意見を整理するとともに、具体的な話し合いの場をもちたいと考えている。まず、寄せられたご意見の内容や確認事項などについて、事務局からお話しいただきたい。</p> |
| 佐藤主査 | <p><u>(2) 次期計画に向けた提言について</u></p> <p>前回の会議から今回までの期間、委員の皆さまから様々なご意見をお寄せいただいたことについて、感謝を申し上げたい。いただいたご意見を共有し、また、それを踏まえて、本日は、議論をしていただければと思っている。</p> <p>では、資料2をご覧いただきたい。前回の会議でご説明を差し上げた内容の再確認にもなるが、今年度、提言を行う上で、前提となる事柄を申し上げる。</p> <p>まず、現行計画が平成26年度末までを期間としており、新しい計画が平成27年度からスタートすることになるため、来年度1年間で、策定（更新）を行う。このプロセスに合わせて、現行の計画を見守っていただいている委員の皆さまからの声を、内容に反映させるため、今年度、提言という形で集約を図るものである、ということ。</p> <p>続いて、次期の計画に向けた提言内容を考えるにあたって、現行計画を推進している中で、現在、認識している課題と、それに対する考え方というのは、そのものが、次の計画に忘れずに伝えていきたい事項、ということができる。</p> <p>3点目として、第1期・第2期の委員会からの提言書と異なる点として、これまでの提言は、現行の計画書に基づいた施策の推進を図るための、個々の事業・取り組みの方法などに目を向けて実施してきたものであった。これに対し、今回の提言は、方向性を異にし、個々の政策・取り組み等の事例をもとに、より大きな視点での提言として、次期の計画に反映させたい事柄として伝えていくべく、まとめていただきたい、ということ。</p> <p>以上、3点について、前提としてのご認識をいただければと思う。</p> <p>続いて、資料3については、これまでの資料から読み取れる内容として、コメントの中で共通する部分を整理したものや評価点の低いもの等を、参考にお示しするものである。</p> <p>「①取り組み確認シート・ご意見のまとめ」は、委員の皆さまからお寄せいただいたご意見の中から、共通する部分・課題として認識されている部分として抽出したものである。なお、この内容は、事務局の現状分析・課題認識とも整合するものとなっている。</p> <p>「②取り組み確認シートで評価点が低かった項目」は、委員の皆さまに、その進捗度合いについて5段階で評価点をつけていただいた点数の平均値として算出したもののうち、下位の項目である。</p> <p>「③取り組み確認シートで低い点数（1点）がついた項目」は、委員の皆さまの中で、特に課題認識をおもちで、低い評価を付けられた方がいる項目で、ある側面から見たときに、不足している部分があると言えることができると考え、挙げさせていただいた。</p> <p>また、資料4については、委員の皆さまからご意見をいただいた内容を一覧化し、それぞれに対して事務局のコメントを付したものである。</p> |

前橋会長

いずれも、事前にお目通しいただいているものだが、この後の討議の参考にさせていただきたい。

ありがとうございました。

本日は、次期計画に反映させるべき提案内容の整理をしてみたい。進め方については、最初から全体で議論を始めるのではなく、まずはグループに分かれていただいて、それぞれから、次期計画に反映させるべき内容を挙げていただく方法を探りたい。グループごとに、討議内容の発表をいただいた後、全体として話し合いを行い、内容を整理する、という流れで進めていきたい。

具体的には、事務局で用意したA3版の用紙に記入し、ホワイトボードに貼っていただきたい。これまでに委員の皆さまから寄せていただいたご意見も踏まえ、現行計画の課題を話し合いながら、具体的に次期計画にはどのような内容を盛り込んだらよいか、という提案内容を記入し、グループごとに、優先度を付けて並べていただきたい。

【グループ討議】

3つのグループに分かれて討議を行った。グループ内訳については以下のとおり。

グループ1：岡村委員・大島委員・難波委員・長谷川委員

グループ2：神武委員・小田島委員・小原委員・仲田委員

グループ3：山江委員・広瀬委員・福田委員・吉田委員

※前橋会長・柴井副会長は全体を俯瞰し、適宜、各グループに加わる。

【発表】

①：次の計画に盛り込みたい内容

②：①に関する現行計画における課題・足りていない部分ほか

グループ3（発表者：山江委員）

前提として、「提言」なので具体的な言葉が出てこないイメージが湧きづらいことから、具体的な事例をもとに、提言に盛り込みたいポイントを挙げた。

①「地域のニーズから地域の活動につなげる」

②・地域の高齢者の見守りや交流が足りない

・防犯対策、防災対策、地域での見守り体制が足りない

①「高齢者の活動の場づくり」

②・高齢者になると外に出る機会が少ない

・社会参加できる場所、働くというだけでなく、「出かけられる」場の整備

- ① 「自ら地域福祉に関心をもつ住民意識の改革」
- ② 周知、広報をしたとしても、受け取る側の意識が低ければ、効果が薄いものになってしまう

- ① 「若い障害者の後見の担い手の育成」
- ② ・福祉サービスの利用援助事業の促進
 - ・近年、市民後見人の必要性も叫ばれているが、「なり手」は高齢者が多い
 - ・高齢者だけでなく、若い年齢層の方にも市民後見人になってもらえる働きかけ

- ① 「たらい回しにならない相談機関」
- ② ワンストップ相談の整備

グループ2（発表者：小田島委員）

前提として、現行計画を進めている中で思うこととして、「地域福祉」というと総花的になりがちなため、ポイントを絞った方がよいのではないかと、という総意のもとで、話を進めていった。

- ① 「ワンストップの総合相談機能の確立」
- ② ・「総合福祉センター」に総合相談機能を位置づける中で、各種相談を含む複合的な相談のシステム化をどう進めていくのか
 - ・各地域にある相談支援事業所をはじめ、地域のネットワークをつなぎ、地域とコーディネートできる、地域の中でソーシャルワークのできる専門職として、地域福祉コーディネーターを設置してはどうか

- ① 「世代間交流の取り組みを進める」
- ② ・地域の安心安全を進めている中で、自転車の運転マナーが悪い、という課題がある
 - ・マナー向上を図る取り組みを考える中で、例えば、単に高齢者や幼児、小学生など、それぞれに研修をすればよい、ということではなく、そこに世代間交流を絡めて、地域の中で暮らすいろいろな世代の共通の課題として、高齢者も子どももいっしょの場での研修などの取り組みがあつてよいのでは

- ① 「人の集う場所を拡げる取り組みを」
- ② シャッター街も散見されるが、商店街であれば、人が集まりやすい場所であるはずで、それならば、高齢者の方がなかなか外に出づらい、という課題に対して、その空き店舗などを利用して、気軽に集まることのできるサロン活動などができないか

<その他>

○それぞれの取り組みには人が介在するので、人材育成が必要だが、教える側の人材を

| | |
|--|--|
| | <p>集めるのが難しいという課題もある</p> <p>○自治会・町内会は、地域の基礎単位となる助け合いの場である。新旧住民の距離や高齢化の進展などの課題がある中で、コミュニティの基礎単位として、役立てられればよい</p> <p>グループ1（発表者：岡村委員）</p> <p>全体に共通する部分として、現行計画はおよそ10年前に策定された計画であることから、現状と合っているのかを確認し、ずれている部分を今のニーズに即すとどのようなことが必要になるのかを、しっかり確認した上で意見集約できるとよい。</p> <p>①「計画の小地域化」</p> <p>②地域によって抱えている課題が違うのではないかと。それを踏まえて問題を考えていけば、「自分たちのまちをどうするか」という意識がより醸成しやすいのではないかと。このように考えると、将来的に、計画の「小地域化」を検討してもよいのではないかと。</p> <p>①「共助意識の喚起」</p> <p>②・高齢者に対する支援が必要であり、自立した生活が送れるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事をする場所と住んでいる場所が異なる人も多いことから、企業や、他の地域から働きに来ている人たちとの連携も意識した「生活圏の見直しに対する取り組み」が必要 <p>これらを踏まえると、お互い助け合うという「共助」の意識を喚起していくことが必要ではないかと。</p> <p>前橋会長</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日の討議を経て、私の方から提案させていただきたい。まず、事務局でまとめを行った後、12月中にワーキンググループを開催し、その場で整理をする基礎作業を行ってはどうかと。そして、2月の委員会で提言書の原案を確認して、さらに内容を詰めていくこととしたい。ワーキンググループは、正式の会議ではないため、有志での、いわゆるボランティアでの参加になってしまうが、都合のつく委員の方に集まっていただき、内容の整理を行うということで、いかがかと。もしその日に参加できない方は、事前に事務局の方へメッセージを寄せていただければと思う。</p> <p>今、申し上げたワーキンググループという形について、事務局としてはいかがかと。</p> <p>北田課長</p> <p>会長からご提案のあった形で、参加できる委員の方々にご協力いただき、ぜひ、提言書の案をつくる作業を行っていただければありがたい。</p> <p>前橋会長</p> <p>では、進め方としては、まず、私も含めて事務局サイドで整理を行った上で、12月中にワーキンググループを開催し、まとめる作業をする。それを経て、提言書の案を作成す</p> |
|--|--|

| | |
|-------|---|
| | <p>る。これを、1月に各委員に送付し、事前に内容の確認をいただいて、2月の、本年度第3回の会議に臨むこととしたい。会議の場では、改めて委員の皆さまに提言書の原案を見てください、提言書の作成に入っていきたい。</p> <p>ワーキンググループの日程の調整については、改めて事務局から連絡をしていただければと思う。</p> |
| 柴井副会長 | <p>只今、会長からご提案があったように、進めていただけたらと思う。</p> |
| 前橋会長 | <p>このことについて、何かご意見はあるか。</p> |
| 岡村委員 | <p>12月のワーキンググループを経て、次回の会議では、文章化されたものを確認することになる、ということでしょうか。</p> |
| 前橋会長 | <p>そのように考えている。</p> |
| 岡村委員 | <p>本日の会議においては、現行計画を進めてきた上での課題を意識して討議をしたものだが、別の視点として、障害をおもちの方の視点や外国人の問題、生活困窮者への課題などを、次期の計画にどのように反映させるか、ということも大事だと考える。このことも、ワーキンググループの中で話をできればと思う。生活困窮者自立支援法案や介護保険の要支援向けサービスが市町村へ下りてくる流れの中で、次期計画のスタートの時期を考慮し、整合性を意識しながら作っておくべきだと思うし、また、提言への内容の反映についても、考えておいた方がよいと思っている。</p> |
| 前橋会長 | <p>いただいたご意見は、2月の次回会議開催までの期間で、ワーキンググループの場や、それ以外での事務局とのやり取り等を通して、提言書として文章化できるかどうか、試みたいと思う。提言書の本文以外にも、資料編として添付することもできるので、基本的には、いただいたご意見を全て反映できるように考えてみたい。</p> |
| 大島委員 | <p>前回の会議で、計画の策定をコンサル事業者に委託するという話があったが、それはいつ頃のタイミングか。</p> |
| 北田課長 | <p>現在は、来年度の予算を検討している時期であり、詳細日程については確定していない。事務局の想定としては、年度明けの4月早々に、直ちに動きたい、と考えている。</p> |
| 大島委員 | <p>今回、2月までに、次期計画に向けての提言書案をまとめる作業を行うわけだが、その内容を、この委員会からの意見、提案として、次期計画の策定作業に伝えていく、ということでしょうか。</p> |

| | |
|------|--|
| 北田課長 | そのとおりである。 |
| 前橋会長 | <p>それでは、2月の次回会議の時に委員の皆さまのアイデアを一つにまとめられればと思う。繰り返しになるが、12月のワーキンググループについては、日程が調整でき次第、事務局からアナウンスしていただくこととし、皆さまからは、それまでにご意見があれば事務局へお寄せいただきたい。もちろん、これまでにいただいた様々なご意見を大事にしながら、今後の作業を進めていくこととしたい。</p> <p>それでは、議題（3）その他について、事務局から何かあるか。</p> <p><u>（3）その他</u></p> |
| 佐藤主査 | <p>次回以降の開催予定と、今後の作業等の流れについて、ご説明申し上げます。</p> <p>次回の委員会は、年明け2月の開催を予定しており、そこでは、提言書の形にした「案」を提示し、最終的なご確認とご意見をいただくこととし、実際の提言としては、3月末に、会長・副会長およびお越しいただける委員さんで、市長に渡すこととしたい。</p> <p>本日の討議を経た内容については、事務局でまとめをさせていただくが、前橋会長からご提案をいただいたように、委員の皆さまのご協力を得て、ワーキンググループという形で、いっしょにまとめる作業をさせていただければと思う。日程・場所などについては、改めて皆さまにお知らせするので、よろしく願いいたしたい。</p> <p>また、2月に予定している次回の委員会の日程についても、なるべく早く決定し、お知らせしたい。</p> |
| 前橋会長 | <p>ありがとうございました。では、本日の議題についてはすべて終えたので、事務局にお返しする。</p> |
| 池田主幹 | <p>4. 閉 会</p> <p>閉会を宣言した。</p> |